

2024年8月28日開催 第1回第2次富士市観光基本計画策定会議 質疑応答・意見まとめ

	質問内容	回答	意見
1	次期計画において、KPIを設定することだが、KGIについてはどのように設定する予定か。 KGIを設定しておかないと、どうしたら成功なのかという結果が分からなくなってしまうのではないか。	各数値の設定については、策定会議の中で委員の意見を伺いながら設定していく。	
2	インターネット調査の対象を、東京、神奈川、愛知としているが、このエリアからの入込客数の割合はどの程度か。	静岡県観光協会の行っている調査によると、関東圏からの宿泊客が6割以上を占めており、県内にはかなり多くの方が来訪している。 愛知は全体の約1割程度。	全体の数値だけでなく、項目ごとに分析を行いながら、データを活用するのが望ましい。
3	インバウンドの傾向についてはどのように調査するのか。	静岡県観光協会の行っている調査で、県内のインバウンド来訪者の傾向は把握できる。 富士市の来訪者については、新富士駅の観光案内所での対応件数や、夢の大橋での来訪者アンケートにより傾向の把握は可能。	
4	年齢階層の設定について均等割をしているが、その意味を伺いたい。	過去のデータにおいても、具体的なものがない状況であり、まずは全世代の意見を幅広く集約することを最優先とした。 年齢ごとの調査結果の割合も示すことが可能なので、集計を進めながら分析を行う。	
5	自組織の中でも、観光振興に関わる事業者が集まる部会があるが、その中で出た意見を策定委員会に提示すれば反映してもらえるのか。	すでに事業者へのヒアリングも実施したところではあるが、可能な範囲で委員の皆さんが関連をもつ事業者の声を拾っていただきたい。	事業者の皆さんが大事にしたいと思っていることを踏まえた計画にしないと、実効性がなくなってしまう。
6	個人事業者の意見をどこまで反映できるのか。 多くの人から意見を聞くのは難しいと思うが、できるだけやったほうが良いと思う。	事業者ヒアリングにおいて、委員の皆さんが属する団体の会員さんなどにも声掛けをして回答をいただいております、ある程度は声を拾っていると認識している。 後日回答いただいた事業者リストをお示しし、追加でヒアリングを行うべき事業者があれば対応する。	
7	計画期間は10年で決定か。	10年でなければいけないはっきりとした理由はない。 観光には流行もあるので、計画自体が必要なのかという意見も事務局内でも挙がったことがある。	10年の計画を作るとしたら、適宜積極的に見直しを行うことを明記しておくが良い。
8	質問内容が前回と変わっていないのではないか。 現計画のデータと比較してどうかという分析をする必要があると思うが、その点は反映されたものになるのか。	第2次計画ということもあり、現計画のフィードバックを行ったうえで、施策内容を確認する必要があると認識している。 そのため、質問内容は現計画の内容を踏襲した。 結果を踏まえながら次に繋げていくことを目的としている。	どのアンケート項目がどこに関わっているのかを分かるようにしてほしい。

2024年8月28日開催 第1回第2次富士市観光基本計画策定会議 質疑応答・意見まとめ

9	現状運転手不足の状況の中で、これ以上の交通手段としての役割を求められても対応は厳しい。 社会情勢や様々な技術発展が目覚ましく変化をしている中で、現状をペースに計画を作るのか、途中で変わることも含めて計画を作るのか。		観光だけではなく、産業関係の部局とも横軸で連携しながら考える必要がある。 行政としての方向性を明確にしてほしい。
10	次期計画を「ビジュアル的にわかりやすく」と表現しているが、イラストや図で示すという形なのか、順序をわかりやすくするという意味なのか、どちらなのか。	後者のイメージ。パッと見て理解できるようなロジックツリーの形式でお示したい。	
11			コロナが収まりインバウンドも増えているが、この計画で行政がきちんと目標を示してほしい。 世界に誇る富士山を一つの軸として、他には水やスポーツ、駿河湾など皆さんで共有しながら、夢のある計画を立てられれば。
12			目標をはっきりと謳ったほうが良い。 交流人口を拡大させる地域経済の活性化をまず第一に考えたい。 魅力ある富士市を作らないと、子どもも残ってくれない。 この計画が事業の活性化に繋がると良い。
13	ゾーニングという説明があったが、富士市のどこでやるのかという意味であれば、「エリア分け」になるのではないか。	ご指摘の通り、市内での重点エリアを選定するという意味合いでの記載をしている。	